

カリキュラム 区分		授業 科目	クリティカルケア論 Critical Care Nursing			担当 教員	江川 幸二 (専 任)
開講年次	3年次前期	単位数	1単位	科目 分類	看護学科目	授業形態	講 義
選択必修	必 修	時間数	30時間			使用教室	
授業の目的及びねらい							
<p>クリティカルケアを受ける患者の特性や、クリティカルケアの場の特殊性を理解したうえで、代表的なクリティカルケアを受ける患者の看護について学ぶ。また人工呼吸器装着中の患者の安全の確保、不安、意思伝達困難、苦痛の緩和などの看護についても学ぶ。さらに救急時の看護技術演習も併せて学ぶ。</p>							
授業のキーワード							
クリティカルケア、ME機器、人工呼吸器、モニター管理、安全、環境、ストレス、心肺脳蘇生、AED、倫理的問題							
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画						
第1回	I. クリティカルケアとは何か						
第2回	1. クリティカルケアの概念						
第3回	2. クリティカルケアにおける看護の役割・機能						
第4回	3. クリティカルケアにおける患者の家族に対する看護						
第5回	II. 人工呼吸器装着中の患者の看護						
第6回	III. 急性呼吸不全患者の看護						
第7回 ～ 第10回	IV. クリティカルケアに関するトピック (演習) クリティカルケアについての最近のトピックから、問題点とその背景、解決の方向性について考える						
第11回 第12回	V. 救急時の看護技術 1. 心肺脳蘇生術 (AEDを含む) についての基礎的知識 (講義) 2. 心肺脳蘇生術についての演習						
第13回	VI. 急性循環不全患者の看護						
第14回	VII. 急性意識障害患者の看護						
第15回	VIII. 重症熱傷患者の看護						
テキスト	「系統看護学講座・別巻4 救急看護学」：医学書院						
参考文献	寺町優子、井上智子、深谷智恵子編「クリティカルケア看護 理論と臨床への応用」日本看護協会出版会 池松裕子編「クリティカルケア看護論」ヌーヴェル・ヒロカワ						
成績評価の方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末試験 (80%) ・演習への参加状況と提出物 (15%) ・技術演習への参加状況とレポート (5%) 						
教員から学生へのメッセージ							